

用語集

■ 電動車の種類

BEV:

Battery Electric Vehicle 電気自動車

PHEV:

Plug-in Hybrid Electric Vehicle プラグインハイブリッド車

HEV:

Hybrid Electric Vehicle ハイブリッド車

FCEV:

Fuel Cell Electric Vehicle 燃料電池車

DX(Digital Transformation):

デジタル技術を用いて、業務プロセスを改善し、新しい製品やサービス、ビジネスモデルを生み出し、社内外で新しい価値を創造するための変革。

KPI(Key Performance Indicators):

主要業績指標。目標達成のための重要な指標。

TCFD:

気候関連財務情報開示タスクフォース。気候変動が企業の財務にどのような影響を与えるかを開示するためのグローバル情報開示基準。

TPMS (Tire Pressure Monitoring System):

タイヤ空気圧監視システム。タイヤの空気の流れがないかを常時監視して、異常を知らせる当社の主力製品。

VUCA:

Volatility(変動性)、Uncertainty(不確実性)、Complexity(複雑性)、Ambiguity(曖昧性)の頭文字をとったもの。先行き不透明なこと。

移行策(気候変動):

気候変動の移行リスクに対処するための方策。

移行リスク(気候変動):

気候変動が起きないようにするための、政策や市場・技術の動きに伴うリスク。CO₂排出量への課税や、顧客からの脱炭素への要請、電動車市場への急激な変化など。

インパクト:

環境や社会に与える影響のこと。負の影響を軽減し、正の影響を増やすことで価値が創造される。

ウェルビーイング:

身体的にも、精神的にも、社会的にも満たされた状態のこと。幸福。善いあり方。

カーボンニュートラル(CN):

温室効果ガスの排出量と吸収量を均衡させ、合計を実質的にゼロにすること。

気候変動の緩和および適応:

気候変動させないための緩和と、気候変動による被害に備えるための適応。CO₂削減は緩和であり、災害対策は適応。両方セットで行う必要がある。

コーポレート・ガバナンス:

会社が、株主などのステークホルダーの利害に基づき、法令を遵守し、効率的に運営されるよう監督するための体制や仕組み。

コンプライアンス:

単に法令を守るのみならず、社会の公器としてふさわしい行動をとること。

サーキュラーエコノミー:

循環型経済。それまでのリニア(一方通行)の資源活用ではなく、資源が循環して持続可能性が保たれること。ビジネスモデルや社会システムの変革まで含めることが多い。

サステナビリティ:

持続可能性。将来世代や世界中の人の幸せを損なわないで、自分の幸せを実現すること。

シール技術:

当社バルブ製品のコア技術で、主に気体の封止や排出を制御する流体制御技術のこと。

資本コスト:

企業が、事業運営を行うための資本を調達するためのコストで、企業の利益はこれを上回る必要があるとされる。

尺取り虫精神:

創業者小川宗一の経営理念。「尺取り虫が縮むのは、次に伸びる為だ」という前向きな起業家精神を説いた言葉。

従業員エンゲージメント:

従業員一人ひとりが会社や職場の「戦略・目標」を理解・共感し、自発的に自分の力を発揮する貢献意欲のこと。

心理的安全性:

安心感を持って自由に発言したり、行動できる状態。

スコープ1,2,3:

CO₂排出量の区分。主には、自社で排出するものがスコープ1、自社で利用する電力を作る際のもものがスコープ2、それ以外の、原材料の製造や、製品の使用や廃棄などの企業外で排出される間接的なものがスコープ3とされる。

ステークホルダー:

利害関係者。事業活動を行う上で、影響を与える、あるいは与える可能性のあるすべての人々。従業員、顧客、仕入先、株主・金融機関、地域社会など。自然環境も含む場合がある。

スマートファクトリー:

デジタル技術を利用して、効率的な生産が可能となった工場。

ダイバーシティ&インクルージョン:

多様性と包摂性。さまざまな人が集まった状態が多様性、誰一人取り残されることなく、それぞれの人が活躍できる状態が包摂性。

デューデリジェンス:

サステナビリティデューデリジェンスや、人権デューデリジェンスは、企業が環境や社会に負のインパクトを与えていないか、リスクを特定・防止・軽減・是正・モニタリング・追跡・報告する一連のプロセスを指す。

超ハイテン材:

Ultra High Tensile Strength Steel:超高張力鋼板。980MPa以上の引張強さの鋼材。

内部統制:

財務諸表の信頼性を確保し、事業運営の効率性を向上し、法令遵守を促進、不正防止を図り、基準や手続きに基づいて管理・監視を行うこと。

パーパス:

社会の中で、企業が存在する理由。いつでもどこでも道標となる北極星。

物理リスク(気候変動):

気候変動に伴う、異常気象や洪水、渇水、熱波などのリスクのこと。

腐敗防止:

受託した権力を個人の利益のために用いることを防止すること。

ホットスタンプ:

素材を加熱し、成形中に急速冷却する工法。成形の自由度が高く、複雑な形状も成形可能だが、生産性が低く、電力使用量が多い。

マテリアリティ:

重要課題。ステークホルダーや環境への影響や、自社のリスクや機会を踏まえ、適切なプロセスで特定し、戦略に織り込むことが求められる。

冷間プレス:

素材を常温のままプレス機で成形可能な工法。超ハイテン材では成形が難しく、高い技術力が必要だが、生産性が高くホットスタンプに比べ電力使用量が少ない。

レジリエンス:

環境変化に柔軟かつ迅速に適応し、しなやかに立ち直ること。